

# 日本音楽集団

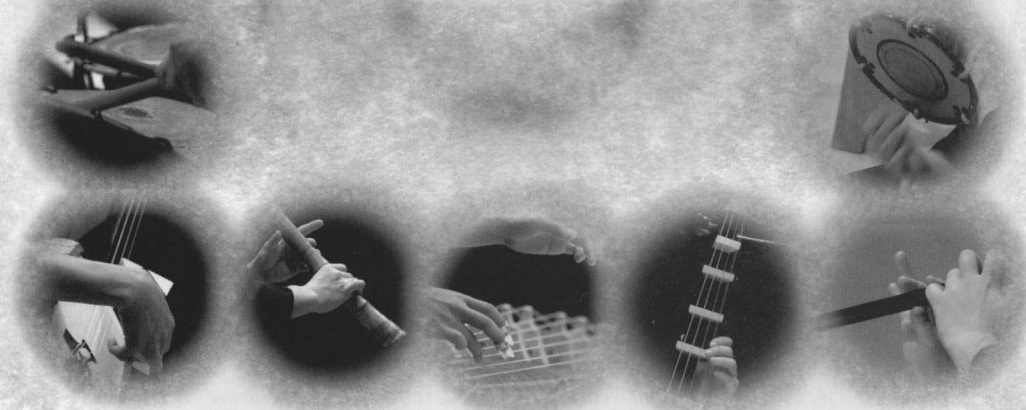
## PRO MUSICA NIPPONIA



第186回定期演奏会  
The 186th Regular Concert

# 明日への扉を開く

Opening the way to tomorrow



2007年1月26日[金]  
午後7時開演(6時30分開場)  
津田ホール

：主催：特定非営利活動法人日本音楽集団  
：助成：平成18年度文化庁芸術創造活動重点支援事業  
■日本音楽集団：http://www.promusica.or.jp/ E-mail office@promusica.or.jp



## 日本音楽集団「研究会」と今回の定期演奏会

日本音楽集団「研究会」は、邦楽器合奏の恒常的研究と新しい作品の創出を趣旨とし、若手の団員を中心にして2000年に発足いたしました。「研究会」では、これまで定期的に試演研究を実施し、その研究発表の場として、毎年の公開コンサートを実施して参りました。

この＜第186回定期演奏会～明日への扉を開く～＞は、その研究成果の集大成として、音楽集団の在籍作曲家による5曲の作品をご紹介します。作曲家と演奏家の共同作業により舞台を作り上げるという、音楽集団の伝統的な手法を継承しながらも、伝統音楽に対して新たなアプローチを試みた意欲的な内容となっております。

### ■日本音楽集団「研究会」コンサート実績

#### 《 第1回 (2002年8月22日:日暮里サニーホールコンサートサロン) 》

- さくら(福嶋頼秀 編曲) ●浜辺のうた(秋岸寛久 編曲)
- 五声のコンチェルティーノ(福嶋頼秀 作曲) ●箏と十七弦のためのソナタ(真鍋尚之 作曲)
- 二つの諧調(秋岸寛久 作曲) ●二つの即興的幻想(福嶋頼秀 作曲)

#### 《 第2回 (2003年3月10日:日暮里サニーホールコンサートサロン) 》

- 雅俗四響(和田薫 作曲) ●星涼之賦(川崎絵都夫 作曲) ●萌生(秋岸寛久 作曲)
- 呼吸Ⅱ～箏のための～(真鍋尚之 作曲) ●二つの即興的幻想(福嶋頼秀 作曲)

#### 《 第3回 (2003年8月26日:コガ・ミュージアム けやきホール) 》

- Una luz en el mar 海の中の光(アルフレッド・ローランド・オルティス 作曲・秋岸寛久 編曲)
- 「水」第五(宗像和 作曲) ●トポロジカル・スペース(秋岸寛久 作曲)
- 4つのプロフィール(福嶋頼秀 作曲)

#### 《 第4回 (2005年3月8日:コガ・ミュージアム けやきホール) 》

- 星月夜(三宅一徳 作曲) ●箏四重奏曲(真鍋尚之 作曲)
- もう一つの軽みの曲(福嶋頼秀 作曲) ●尺八三重奏(川崎絵都夫 作曲)
- 組曲「オイディプス」(真鍋尚之 作曲)

### 若いパワーが開く2007年の扉

日本音楽集団代表 田村拓男

会社でも社会でも国でも、あるいはスポーツや音楽の世界でも、若い人たちの台頭によって活況が生まれます。日本音楽集団でも毎年のように若い入団者を迎えて、相互に緊張感と刺激を与え合っています。今年創立43年目を迎える日本音楽集団ですが、創立団員は3人のみとなった現在、とみにこの数年、若いメンバーの動きが活発になっていることを嬉しく思います。団内に「研究会」をつくり、集団のレパートリーの中でこれまで書棚に眠っていた作品を抽出したり、作曲家との共同でつくった新曲を試演したり、毎年のように公開コンサートを開いて発表するなど、若いパワーの台頭を頼もしく思っているところです。

日本音楽集団の次代を背負って頑張る若手メンバーの活動を、今後ともご支援賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

## プログラム

### 一、トポロジカル・スペース (2001年)/秋岸寛久作曲

Topological Space, comp.by Akigishi Hirohisa

[尺八] 加藤秀和  
[三味線] 杵家七三  
[二十絃箏] 山田明美  
[十七絃] 城ヶ崎美保  
[打楽器] 多田恵子

### 二、尺八三重奏曲 (2005年)/川崎絵都夫作曲

Trio for 3-Shakuhachi, comp.by Kawasaki Etsuo

[尺八] I 原郷隆 II 渡辺淳 III 元永拓

### 三、Riesenkraft —邦楽器のための—

(2004~2006年 委嘱・初演)真鍋尚之作曲

Riesenkraft for Japanese instruments, comp.by Manabe Naoyuki

[笛] 越智成人 [尺八] I 渡辺淳 II 原郷隆 III 阪口夕山  
[三味線] I 山崎千鶴子 II 守啓伊子 III 箕田弘大 [太棹三味線] 工藤哲子  
[琵琶] 久保田晶子  
[箏] I 三宅礼子・渡辺正子 II 田村法子・山田由紀 III 早川智子・佐藤里美  
[十七絃] I 久本桂子・久東寿子 II 城ヶ崎美保  
[打楽器] 高橋明邦・仙堂新太郎・盧慶順  
[指揮] 真鍋尚之

休憩 . . . . .

### 四、寓懐あまつかせ —5人の和楽器奏者のための—

(2006年 委嘱・初演)尾形敏幸作曲/桑名小弓作詩

The winds of heaven, comp.by Ogata Toshiyuki, words by Kuwana Koyumi

[笛] 越智成人  
[三味線] 穂積大志  
[琵琶] 首藤久美子  
[二十絃箏] 三宅礼子  
[笙] 真鍋尚之

### 五、4つのプロフィール

(1.冬~プレリュード~ 2.春~バウンス~ 3.夏~ヒーリング~ 4.秋~ダンス~)

(1999年)福嶋頼秀作曲

Four Profiles, comp.by Fukushima Yorihide

[笛] 竹井誠 [尺八] I 加藤秀和・渡辺淳 II 元永拓・原郷隆 III 竹井誠・阪口夕山  
[三味線] I 工藤哲子 II 山崎千鶴子  
[箏] I 山田明美・山田由紀 II 佐藤里美・田村法子  
[十七絃] 久本桂子・渡辺正子  
[打楽器] 高橋明邦・仙堂新太郎・多田恵子・盧慶順  
[指揮] 福嶋頼秀



## トポロジカル・スペース

尺八、三味線、二十絃、十七絃、打楽器の五重奏です。  
「トポロジカル・スペース」とは数学用語で、その本当の意味は私もよく理解しているわけではありませんが、「外見をどのように変形しても、本質は変わらない」といった程度の意味合いでタイトルにしました。拍子感のない自由な部分と、拍子の枠の中で正確なアンサンブルが要求される部分。それぞれが主張しあう部分と、協調する部分など、いろいろな対比が盛り込んであります。2001年に音楽集団の定期演奏会で初演されてから、何度か再演をしていただきましたが、そのたびに新しい「スペース」が生まれるような気がします。今回の演奏も楽しみです。

(秋岸寛久)

## 尺八三重奏曲

尺八奏者の方からの「スタンディングで演奏出来てカッコいい尺八三重奏曲があるといいですね」という希望に大いに賛同して作曲しました。三人の奏者の対話やリズムカルな部分など、イキの良い若手尺八奏者の競演を御堪能下さい!

(川崎絵都夫)

## Riesenkraft — 邦楽器のための —

『盗作』  
小さな素材を発展、展開させて大きな楽曲へと組み立てていくそれが私の作曲法。  
小学校一年生の時の思い出。  
確か植物か花かの観察紀か感想文か何かを書く授業であった。  
私はこのような文章を書くのが苦手だ。ずっと書けないで悩んでいた時に後ろの子を振り返ると、「どうしてこんな小さな種から、こんなに大きな花が咲くのだろう」というようなことが書いてあった。  
苦しんでいた私は、それをそのまま頂いてしまった... その後の文章はその一文がきっかけになって自分の力で書き進められた気がする。しかし... すぐにバレ... 先生に叱られた。  
一年生の冬に転校した私にとって9ヶ月間のこの小学校での思い出はあまり多くはないが、なぜかこの出来事をよく覚えている。  
小さな素材を大きな曲へと完成させていく。そんな大きな力が自分でも驚くくらい湧き上がってくる時がある。  
「Risenkraft」  
そんな気持ちをそのまま題名にした。  
(ちなみにこの曲では何の素材も盗んでいません...)  
2005年より日本音楽集団の若手からなる研究会との共同作業により「三味線バージョン」「箏バージョン」の試演を重ねている。このような実験的な活動は作曲家にとってのみならず演奏家にとっても非常に有意義であり、より完成度の高い作品を生み出す原動力となることであろう。

(真鍋尚之)

## 寓懐あまつかぜ

— 5人の和楽器奏者のための —

「寓懐あまつかぜ」 桑名小弓 詩

天つ風よ ひととき  
雲の通り路を吹き閉じよ  
このわがすがた  
しばし地上にとどめむ

蒼なる上天に  
いまだ返上せざるを許せ

「寓懐あまつかぜ」(詩:桑名小弓)は和歌の解体であるが、多くの示唆に富んでおり、また「寓懐」とは「他のものに心を託す」という意味でもあり、これは私の和楽器に寄せる想いの象徴でもあろうか。前作の無調性、不定量記譜とは違って、4/8の約束された時間のパルスの流れが主体となった音楽であり、本来の魅力溢れる和楽器たちそのものが自らの“想い”を“謡う”ように、一音一音が互いに呼応することを目指したものである。この作品の後半では、詩の言葉を立ち上がらせるべく奏者たちの肉声をも動員しているが、それは単に曲想に変化をもたらすという目的ではなく、奏者と楽器が一心同体であるがゆえに、奏者の声=楽器の声という図式からの発想に他ならない。

(尾形敏幸)

## 4つのプロフィール

〈1.冬～プレリュード～ 2.春～バウンス～  
3.夏～ヒーリング～ 4.秋～ダンス～〉

この曲のタイトルの『4つのプロフィール』とは、日本の音楽の“4つの特徴”とか、“4つの季節の表情”といった程の意味です。

この作品の中で私は、日本の音楽が持つさまざまな音楽的特徴を、現代的な感覚で、自由に展開しています。各楽章ではそれぞれ、日本の音楽の幾つかの側面に焦点をあてています。具体的には、第1楽章の「自由な構成」、第2楽章の「はねるリズム」、第3楽章の「自然描写」、第4楽章の「笛・太鼓によるお囃子」などにその特徴が表れています。

また、この作品は特に描写音楽をねらったものではないのですが、それぞれの楽章の持つ“雰囲気”は、「日本の四季」に対応してとらえることもできます。

1999年 船橋市三曲協会委嘱作品  
(福嶋頼秀)

秋岸寛久(あきぎし ひろひさ)



1962年横浜生まれ。

中学生の頃より作曲を助川敏弥氏に師事。東京音楽大学作曲科に入学し、作曲を浦田健次郎、三木稔の各氏に師事。卒業の時に作曲した「三味線とオーケストラのための協奏曲」が仙台フィル、日本フィルの定期演奏会、及び、東京音大シンフォニーオーケストラ、アメリカ公演等で演奏される。同大学研究科を修了後、日本音楽集団に入団。邦楽器のための作品も数多い。日本フィル九州公演20周年委嘱作品「交響連詩く九州く」(和田薫氏と連作)、横浜国大グリーククラブの創部50周年委嘱作品「樹木頌」、NHK邦楽技能者育成会45期委嘱作品「往来」、市川猿之助スーパー歌舞伎「オオクニヌシ」の音楽等を手がける。また、オーストリア、シュライニング音楽祭や、その日本公演。オーケストラ・アジア韓国公演などでも作品が演奏されている。

川崎絵都夫(かわさき えつお)



作曲家。1959年東京生まれ。魚座。A型。

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。オーケストラレーターとして活躍。並行して邦楽器、合唱、室内楽などの委嘱作品発表を続けている。また文学部・新国立劇場を始めとした舞台音楽も多数手掛ける。邦楽合奏作品は親しみ易い作風で広く演奏されている。主な邦楽器作品…「青葉之賦」「春うらら」「箏・ふたつ」「星涼之賦」(以上家庭音楽会出版部)「花織」「蒼き狼の夢」日本作曲家協議会会員。2000年～2004年・早稲田大学文学部講師。

真鍋尚之(まなべ なおゆき)



洗足学園大学卒業(専攻—作曲・声楽)。東京芸術大学邦楽科雅楽専攻卒業。

第18回神奈川合唱曲作曲コンクール、1位なしの2位。第1回国立劇場作曲コンクールで「呼吸II」を自作自演し優秀賞(1位)受賞、現代邦楽研究所10周年記念事業「東京・邦楽コンクール」第1位など作曲及び演奏での受賞多数。2000年紀尾井ホール、2001年横浜みなとみらい小ホール、2003年、2006年浜離宮朝日ホールにてリサイタルを開催。

笙という楽器の可能性を追求した演奏会を開いてきた。CD「真鍋尚之の笙リサイタル」も発売されている。小野雅楽会会員。十二音会会員。

尾形敏幸(おがた としゆき)



東京生まれ。東京学芸大学大学院修了。大学院在学中に笹川賞、現朝日作曲賞を受賞。

平成9年には文化庁舞台芸術創作奨励特別賞を受賞。その他NHK、全日本合唱連盟主催の合唱コンクール、東京都民合唱コンクール等の審査員を歴任。現在、日本現代音楽協会会員、日本音楽集団作曲家団員。

[主要作品]弦楽とピアノのための「Amorphous」/オーケストラとピアノのための「CONFIGURATION-星位-」/吹奏楽のための「FANFALE」/オーケストラのための「オレンジ色に、いま時が傾い…」/ピアノソロのための「鏡のメタモルフォーゼ」/混声合唱組曲「風に寄せて」「5つのギリシャ的抒情詩」「肖像」/無伴奏混声合唱のための「上代歌謡抄」「アポカリプス」/邦楽器群のための「豊饒なる国のはてで」他

福嶋頼秀(ふくしま よりひで)



1967年群馬県前橋市生まれ。慶應義塾大学法学部卒。作曲を鈴木輝昭氏に師事。

邦楽器のための作曲・編曲作品多数。

東京フィル、東京都響、日本フィル、京都市響、京都フィル室内合奏団、オーケストラアンサンブル金沢といった国内主要オーケストラからの編曲依頼などが多数。現田茂夫、足立さつき、錦織健、佐野成宏、古川展生の各氏などが演奏。2003年ジョン・ミュンファン監修・指揮のコンサートの企画・編曲を担当、DVD化される。教育、イベント分野のコンサートの企画構成・司会も多数手掛ける。

土曜ワイド劇場、月曜ドラマスペシャル、ニュースステーションのジングル、ミュージカルなどの劇伴音楽も多数。

## 日本音楽集団定期演奏会《モニター・ボランティア》募集

日本音楽集団では定期演奏会にご来場頂き、お客様の視点からの印象や感想などをレポートしていただく《モニター・ボランティア》を募集いたしております。ご意見は音楽集団の定期演奏会の運営に役立たせて頂く他、「モニター・レポート」として音楽集団のHP上で公開することもあります。

●応募方法/本団事務局宛に、応募用紙と共に作文を送付していただきます。

●第6期締め切り/平成19年4月27日(金)必着

ご希望の方は演奏会場で、又は日本音楽集団事務局へお問い合わせ頂き、詳細な応募要項をお求め下さい。

## 2007年度日本音楽集団団員募集オーディション

### 2007年3月13日(火)

詳細は事務局へお問合せください。TEL.03-3378-4741

### 賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動を目指したく、ご協力お願い申し上げます。

募集の詳細はチラシをご参照ください。

#### 【賛助会員】五十音順

法人

(株)全音楽譜出版社

(株)宮本卯之助商店

NPOトリオン・アーツ・ネットワーク

個人

青柳 堯  
新井 克輔  
安堂 智浄  
飯塚 絹子  
飯吉 正山  
伊藤 美恵子  
今村 厚子

江大 西関 富枝  
太田 田 楓衣  
川塚 悦子  
岸壁 正則  
後藤 彰陽

四反田 素幸  
杉田 和繁  
関 厚雄  
土井 惠見  
中島 靖子  
浜田 靖子  
古川 羽衣

本水 田野 実  
渡野 正徳  
渡辺 邦治  
渡辺 子子

特定非営利活動法人

## 日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033  
ホームページ <http://www.promusica.or.jp/> E-Mail [office@promusica.or.jp](mailto:office@promusica.or.jp)

料  
に  
愉  
し  
む

株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15  
TEL 03(3792)8481 FAX 03(3792) 8437  
E-mail : [tokyo@kinko-do.com](mailto:tokyo@kinko-do.com)